

政策 03 教育・文化に関する政策

施策 02 市民文化・生涯学習の充実

あるべき姿

多様な文化にふれあう機会や生涯学習に取り組む市民が増えています。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		【生涯学習課】	55.0	50.4	56.6	61.0
評価	<p>(状況) 生涯学習について、継続的に取り組んでいる市民の割合は、基準値(55.0%)と比較して1.6ポイント、前年度と比較して6.2ポイント向上しました。</p> <p>(要因) 市民が継続的に生涯学習に取り組めるように、新しい生活様式を取り入れた生涯学習の場の提供に努めました。今後も、施設の感染防止策を講じながら、市民が生涯学習に参加できる機会を提供していきます。</p>					対 前年度

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生涯学習機会の充実

指標	生涯学習機会に関する満足度(%)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【生涯学習課】	73.5	78.0	77.5	79.8	☀️ (向上)
評価	(状況)生涯学習機会に関する満足度は、基準値(73.5%)と比較して、4.0ポイント向上しましたが、前年度と比較して0.5ポイント低下しました。					対前年度
	(要因)基準値より向上した理由として、市民教養講座等の各種講座を公民館、図書館等で開催、また、オンラインを活用した講座を開催する等、学習機会を提供する場所・方法が充実したことが挙げられます。一方、目標値に達しなかった理由として、感染症拡大防止のため、一部活動内容により利用制限があったことが挙げられます。					☔️ (低下)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

基本事業01 生涯学習機会の充実

指標	生涯学習講座参加者数(人)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【公民館】	15,971	1,550	4,620	17,200	☔️ (低下)
評価	(状況)基準値との比較で71%減、前年度との比較で198%増となりました。					対前年度
	(要因)以下の2点を原因として考えられます。 新型コロナウイルス感染拡大により、講座実施を一部中止したがおおむね予定通り実施したこと(269講座計画したところ228講座実施) 新型コロナウイルス感染拡大により、1講座あたりの募集人数を制限した期間があったこと(平時の半分程度)					☀️ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業01 生涯学習機会の充実

指標	生涯学習の場・施設が充足していると思う市民の割合(%)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【生涯学習課】	76.2	78.7	79.5	82.0	☀️ (向上)
評価	(状況)生涯学習の場・施設が充足していると思う市民の割合は、基準値(76.2%)と比較して、3.3ポイント向上し、前年度(78.7%)と比較すると0.8ポイント向上しました。					対前年度
	(要因)感染症対策を講じた上での各種講座の開催、新しい生活様式を取り入れた市民の施設利用の回復、サークル活動等の再開が原因として考えられます。目標値の達成に向けて、更なる施設の利用について、積極的な周知と広報を進めていきます。					☀️ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

基本事業01 生涯学習機会の充実

指標	青少年健全育成活動の参加者数(人)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【こども応援課】	2,228	78	362	2,800	☔️ (低下)
評価	(状況)青少年健全育成活動の参加者数は、基準値(2,228人)と比較して、1,866人減少し、前年度との比較では284人増加しました。					対前年度
	(要因)新型コロナウイルス感染症拡大防止により、青少年健全育成「市民のつどい」や郷土かるた鴻巣大会などのイベントや事業が中止となったことが原因に挙げられます。魚釣り大会やチャレンジスクール等のイベントの規模を縮小、感染症対策を講じて開催することができました。					☀️ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業02 芸術文化の振興

指標	芸術・文化に親しんでいる市民の割合(%)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【生涯学習課】	60.3	40.7	47.4	65.0	☔ (低下)
評価	(状況) 芸術・文化に親しんでいる市民の割合は、基準値(60.3%)と比較して、12.9ポイント低下しましたが、前年度(40.7%)と比較すると6.7ポイント向上しました。					対 前年度
	(要因) 成果が向上しなかった理由としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって各社会教育施設及び文化施設に利用制限がかかったことや、それによる市民の文化活動自粛が挙げられます。昨年度実績から向上している理由としては、ワケチンの普及等により、市民活動が再開しつつあることが挙げられます。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業03 伝統文化の保護・継承

指標	市内の指定文化財を知っている市民の割合(%)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【生涯学習課】	71.6	65.4	61.4	74.8	☔ (低下)
評価	(状況) 市内の指定文化財を知っている市民の割合は、基準値(71.6%)と比較して、10.2ポイント低下し、前年度と比較しても4.0ポイント低下しました。					対 前年度
	(要因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、指定文化財である各郷土芸能が活動を自粛しており、昨年度よりも市民の目に触れる機会が減少したことが挙げられます。					☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 生涯学習施設の利用促進

指標	市内9公民館利用者数(人)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【公民館】	344,380	147,266	208,240	388,000	☔ (低下)
評価	(状況) 基準値との比較では40%減、前年度実績との比較では41%増となりました。					対 前年度
	(要因) 以下の2点を原因として考えられます。 新型コロナウイルスの感染拡大により、利用時間(時間短縮)や利用人数(平時の半分以下)を制限した期間があったため、利用者数は伸び悩んだこと。 新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで、休館をせず、貸館を実施したことが前年度実績より多くなったこと。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 生涯学習施設の利用促進

指標	市内3図書館来館者数(人)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【生涯学習課】	610,924	298,088	389,036	790,000	☔ (低下)
評価	(状況) 図書館利用者数は、基準値(610,924人)と比較して36.3%減、前年度(298,088人)と比較して30.5%増加しました。					対 前年度
	(要因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用サービスの一部制限、館内滞在時間の制限等はありませんでしたが、新しい生活様式を取り入れた事業実施に取り組み、利用者サービスの向上を図りました。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 生涯学習施設の利用促進

指標	市内4文化施設の年間利用者数 (クレアこうのす、こうのすシネマ、花久の里、ひなの里)(人) 【生涯学習課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		648,052	392,117	551,109	731,000	
評価	(状況) 市内4文化施設の年間利用者数は、基準値(648,052人)と比較して、96,943人減少しましたが、前年度と比較すると158,992人増加しています。					対 前年度
	(要因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設の利用制限や、緊急事態宣言による開館日数の減少はありましたが、少しずつ利用者が戻ってきていることが挙げられます。					

基本事業04 生涯学習施設の利用促進

指標	生涯学習施設の不具合による利用支障件数(件) 【生涯学習課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		0	0	0	0	
評価	(状況) 生涯学習施設の不具合による利用支障件数は、前年度と同様に0件でした。					対 前年度
	(要因) この成果の要因として、施設の適正な管理・調整をしたことが挙げられます。					

基本事業05 国際交流の推進

指標	国際交流関連団体数(数) 【総務課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		5	3	3	7	
評価	(状況) 国際交流関連団体数は、基準値(5団体)と比較して、2団体減少しており、昨年度実績と同じでした。					対 前年度
	(要因) ボランティア会員の高齢化等により会員が減少し、一人ひとりの負担が大きくなり、団体活動を維持することが難しくなってきたことが挙げられます。また、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控えている状況です。					

基本事業05 国際交流の推進

指標	異文化交流の機会をもった市民の割合(%) 【総務課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		4.2	1.8	2.8	10.0	
評価	(状況) 異文化交流の機会をもった市民の割合は、基準値(4.2%)と比較して、1.4ポイント低下し、前年度と比較すると、1.0ポイント向上しました。					対 前年度
	(要因) 新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年は活動を控える傾向にありましたが、令和3年は少し回復しています。今後も異文化交流の機会の増加につなげていきます。					